

2021年3月4日

課題名：頸動脈ステント留置術後に画像上 in-stent plaque protrusion を認めた症例の調査

◆研究の目的と概要◆

当院では、頸動脈ステント留置術後の合併症であるステント内プラーク突出(in-stent plaque protrusion)について、術中の血管内エコーや術後の頸動脈エコー、造影 CT 等で評価を行っています。ステント内に逸脱したプラークあるいは血栓が術後脳梗塞再発につながる可能性があります。頸動脈ステント留置術を行った患者さんについて、術前の検査・評価項目からプラーク突出に関連すると考えられる因子（年齢、性別、MRI やエコー所見、ステントや手術に用いたデバイスの種類、術前治療など）と術後のプラーク逸脱との関連、実際の脳梗塞の発生との関連を調べています。評価指標が得られれば、周術期管理に反映させ、診療の質を向上することができると思っています。

◆対象となる患者さん◆

2012年1月から、2019年9月までの間に、内頸動脈狭窄症、内頸動脈閉塞症あるいは内頸動脈解離に対して頸動脈ステント留置術を行った方。

◆研究に使用される情報◆

年齢、性別、既往歴、治療経過

各種画像データ（頸動脈エコー、CT、MRI、造影 CT、脳血管造影）

使用した治療資材

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録(カルテ)からの情報を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

脳神経外科 研究責任者 上里 弥波

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法
（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明